

コーヒーノキ Coffea arabica L. アカネ科

名古屋大学博物館友の会

NUM 友の会ニュースレター No. 67 2022 年夏号

会員随想

木彫りを続けて

石井郁代

コロナ禍の2年余り、我が家の木彫りの教室も、 月に2度のわが師(黒蕨 壮氏)の教室も、ときど き休みがありましたが、この5月末、市民ギャラリ 一で師と門下生の作品展が6日間開催されました。 師は彫刻家ですので今の時勢を反映したマスクを年 齢の数、70個も作り衆目を浴びていました。





マスク

玉庙像

私は世の平和を願い天使像、軽鴨の親子(子鴨は6人の生徒の作品)、善財童子、小金目梟など、見られた方が楽しくなるような作品を心がけて彫りました。これからも体力の続く限り彫って行きたいと思っています。



軽鴨の親子



善財童子



小金目梟

気候変動とウクライナ侵略

足立 守

例年よりも 20 日以上早く 6 月末に梅雨が明け、「全国 150 地点で猛暑日を記録」、「熱中症警戒アラート発令」、「伊勢崎、桐生、多治見で 40℃を記録」といった言葉が日常になってきました。

こうした状況は異常気象で地球温暖化の結果だと言うのは簡単ですが、その根本のところや気候変動との関係は明らかではありません。地球のリズムからすると、過去の気候変動は氷期-間氷期のように数万年~10数万年(あるいはもっと長期間)という長いスパンの現象が一般的です。

地球温暖化対策として、脱炭素化社会を目指す「気候変動に関する国際連合枠組条約(UNFCCC)」に従って世界各国で石炭火力発電の削減・廃止の取り組みが展開されています。こうした中、ロシアの理不尽なウクライナ侵略とその後の天然ガス輸出規制により、石炭火力発電を復活せざるを得ない国がヨーロッパで出てきました。

ロシアと関係の深い中国やインドがプーチン大統領に「戦争を止めましょう」と言わないのは、多くの人口を抱える両国が大々的に行なっている石炭火力発電と無関係ではないでしょう。"異常気性"のプーチンが始めたウクライナ戦争の"せい"にして、自国の石炭火力発電を"堂々と"行なうことが可能になると考えても不思議ではありません。

ー国のリーダーの資質はその国の将来や世界平和だけでなく地球環境・気候変動にとってもひじょうに大きいことをロシアのウクライナ侵略は示しています。宇宙船地球号のパイロット資格が必要ではないでしょうか。

名古屋大学博物館友の会「書面総会」のお知らせ

コロナ禍も3年目ですが、いかがお過ごしでしょうか。2022年度は対面での友の会の集いおよび総会は中止とし、書面による提案とさせていただきます。

つきましては、議案と資料をご覧になり、同封のハガキにて8月1日(月)(消印有効)までに、提出くださいますようお願い申し上げます。

なお、決議は返送していただきましたハガキをも とに行い、次回のニュースレターでご報告します。

万葉の花 その5 テイカカズラ

三矢保永

…延ふ蔦の 別れし来れば 肝向ふ 心を痛み…

黄葉の 散りの乱ひに 妹が袖 さやにも見えず… 柿本人麻呂 万葉集巻二 135

大意 …這う蔦が枝分かれするように別れてきたので、体の芯なる心が痛み、…黄葉が散り乱れて視界が 遮られ、妻の振る袖がはっきりとは見えない…。

注 蔦は、5 首詠まれていますが、いずれも長歌で、 枝分かれの様から "別れ"の枕詞になっています。な にかに這い "伝"わって延びていく様が語源とされて います。古名は古事記岩戸隠れの場面で天鈿女命(あ めのうずめのみこと)がまとったマサキノカズラといわれていますが、同時代の万葉集には出てきません。江戸時代には蔦=テイカカズラが定着していたようです。 テイカは藤原定家由来との説もあります。 謡曲 "定家"(15世紀の作)の人気にあやかって後代に定着したのかもしれません。謡曲 "定家"では、式子内親王を慕う定家の執着心が定家葛(テイカカズラ)によって象徴されています。別れの枕詞という用法とは、真 反対に思われます。ここでは執着して纏わり付くような写真を選びました。



撮影 写真サークル 五十川眞知子

Artist Earth (地球は芸術家) 18

チャートの山並みと美濃刀の刃文(はもん) 足立 守

この写真は愛知県の犬山成田山の駐車場から北 の各務原を見た景色です。



各務原北部のチャートの山並み。手前の黄色は金華山 の名前の由来になっているツブラジイの花

奥の山並みは各務原アルプスとも呼ばれている標高 200-300m 前後のチャートの山で、山の向こうは関市、西へ 15km ほどいくと岐阜城のある金華山になります。このチャートは今から約 2.3 億年前の中生代の海で堆積したものです。

石英でできているチャートは硬くて風化・侵食作用に強いので、切り立った崖や山地を形成します。こうした天然の地形を利用して、戦国時代の美濃や尾張の山城(岐阜城が代表格)はチャートの山の上に築かれました。

各務原の北にある関は古くから日本刀の五大産地(山城、大和、備前、相模、美濃)の一つでした。初期の美濃刀は大和の刀と共通点があるので、そのルーツとなったのは南北朝時代に大和からやって来た刀鍛冶(かたなかじ)と言われています。

日本刀の刃文は産地や刀工によって違うので、刀 剣鑑定の大事なポイントです。美濃刀の刃文(写真 下)は尖ったり丸みを帯びたりしながら連続するチャートの山並みによく似ています。チャートに囲まれた環境で作刀していた美濃の刀工は、『自然に学ぶ』精神で、見慣れたチャートの山を刃文の姿にしたと確信しています。さらに言えば、チャート層の一部から刀を研ぐのに使う砥石(といし)がとれたので、愛着が強かったのかもしれません。



美濃刀「兼友」の刃文

名古屋大学人体組織図譜の出版

門脇誠二

博物館収蔵の「解剖組織図資料」が図録になりました。この図は、解剖学教室の技官を務めた木戸史郎画伯によって 1938 年~1969 年のあいだに描かれ、戸苅近太郎教授の教科書「組織学」にも掲載されました。木戸画伯は、解剖組織図を世界的水準に高め、医学教育に貢献したことにより第13回 CBC クラブ文化賞を受賞しました。

この貴重な医学教育資料は、解剖学教室にいらした小林身哉先生が整理とデジタル化を進められ、博物館への移管にご尽力されました。その展示を、博物館の野崎ますみ研究員が行ってきました。現在の機能組織学(解剖学第二)研究室長の木山博資先生が、名古屋大学医学部創基 150 周年記念事業の一つとして出版を進めてくださり、博物館の門脇が編集に加わりました。この図録は、名古屋大学博物館の解剖組織図展示コーナー(名古屋大学創基 150 周年記念展示室)でご覧になれます。今後は、各図書館にも寄贈してご覧になっていただけるようにする予定です。





ミクロの探検隊®の様子

名古屋大学博物館よもやま その8 知的財産とミクロの探検隊®

野崎ますみ

名古屋大学の組織には、学部や研究科(大学院)の他にも学術連携/産学官連携推進本部もあります。その中の知財・技術移転部門では、知的財産としての特許や登録商標にもかかわっています。特許や商標は特許庁に申請・登録されるとその時点から特許権や商標権が発生します。昨年お亡くなりになった赤崎勇先生の青色発光ダイオードは、2003年だけでも特許料 4.1 億円が名大に支払われ、これは当時の全国立大学に支払われた特許料の96%を占めていたそうです。まさに(知的)財産です。

また、「名古屋大学」、「名大(めいだい)」、という言葉も商標として登録済みです。明治大学を明大と記述するのは良いのですが、めいだいと呼ぶのは、登録商標めいだい(名大)の権利を侵しているのではないか?という、考え方もあります。それ以外に名大のロゴも数種類登録していますので、他の大学や団

体が使うことはできま せん。

商標登録されている 名古屋大学のロゴの一つ

名古屋大学博物館でも「ミクロの探検隊®」は登録商標です。申請をした当時、ミクロの探検隊は年に10回ほどを開催する人気の博物館事業でしたので、商標の権利は十分あると考えました。そこで、2012年の春に知財部門の力を借りて登録商標の申請をしました。その後、特許庁による公報への出願公開(異議が出ないかを見る期間)や審査を経て、同年12月に登録が決定しました。余談ですが、確か全費用は10万円以上だったと記憶しています。申請料・登録料よりも弁理士に払う金額のほうが格段に多かったのはどこの世界も同じです。

現在ミクロの探検隊®には、®マークを付けています。®は Registered Trademark (登録商標)のことですが、正式には国内商標の場合、登録商標第〇〇〇〇〇〇号と表記します。他にもTMマークがついている商品名などを見かけますが、これもTrademark (商標)という意味です。 登録期間が10年間のミクロの探検隊®は、2022年の今年が継続登録の年です。

野外観察園 2022 夏

吉野奈津子

あっという間に梅雨は過ぎ去り、すでに真夏のよ うな暑さです。人もこの暑さに電力控えめでいかに 耐えるか、あれこれ知恵を絞るところですが、植物も 大変そうです。大賀ハスは1か月近く早く咲き、嘉 祥蓮というハスは花茎が伸びなくて葉っぱの下で花 開いています。それぞれのペースでいいのでみな無 事に夏を越せるといいですね。

2021年の春に物置の屋根にランが生えたとご紹介 しました。2株をそれぞれ園内に植え付けたところ、 一つは今年の春に花が咲きました。夏場は水をあげ て干からびないように、と気をつけていましたが、冬 から春にかけてはそんな心配もないのでしばらく放 置、開花できる株の大きさとは思っていなかったの でふと見つけてびっくりしました。観察園にあるラ ンにはこのような色はなく、やはりどこかのお宅由 来のようです。受粉をしてみようかと思いつつ、先延 ばしにしたら花が終わってしまい・・残念に思ってい ましたがまたも見てびっくり、9 つも実ができていま す。毎年観察園にあるシュンランはたくさん花を咲 かせますが、自然に実をつけることはあまりありま せん。飛び入りの名もなきランは昆虫に花粉を運ん でもらいやすい「何か」魅力を持っているのでしょ う。形なのか、色なのか・・・香りなのか。正直私に はそれほどいい香りとは思えませんでした。でも人 が好まない香りが昆虫にとっては大好きだったりも します。真相は分かりませんが、次はどんなびっくり を見せてくれるのか楽しみです。

観察園の花々を紙面でお楽しみください。





名もなきランの花と実



大賀ハス Nelumbo nucifera Gaertn. ハス科



アメリカホドイモ Apios americana Medik.マメ科



ヤマアジサイ'藍姫' Hydrangea Serrata'Aihime' アジサイ科

名古屋大学博物館友の会ニュースレター 2022 年 7 月 12 日発行

名古屋大学博物館友の会 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館 気付

話:052-789-5767 (博物館事務室) FAX:052-789-5896(博物館事務室)

Eメール: hakubututomo@gmail.com アクセス:地下鉄名城線「名古屋大学」下車 2番出口

ホームページ: http://www.num.nagoya-u.ac.jp/fan

10/1~3/31 に入会した場合は 500円 (次年度は 1000円) 年会費 1000 円 (4/1~3/31)

家族会員制度あり(同居の家族1名まで年会費を免除)

口座番号:00800-8-166807 <振込先> ゆうちょ銀行 加入者名:名古屋大学博物館友の会

他銀行からの振り込み 店名〇八九(ゼロハチキュウ) 店番(089) 当座 0166807